

1F-4使用済燃料プールから共用プールに輸送された 使用済燃料の調査について

2014年11月27日
東京電力株式会社



IRID

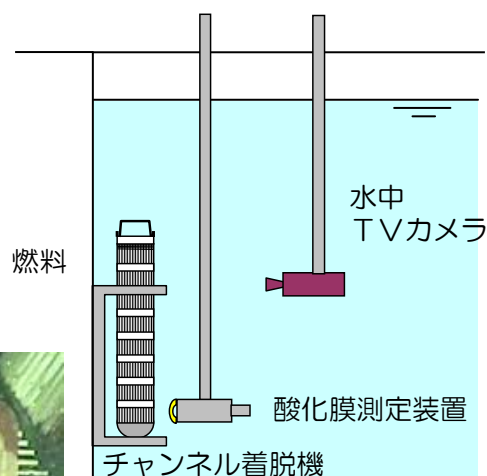
本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構 (IRID) の成果を活用しております。

概要

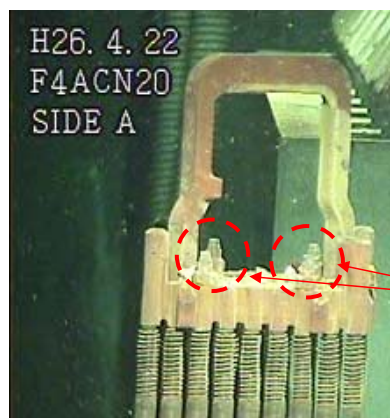
■概要
「平成25年度発電用原子炉等廃炉・安全技術基盤整備事業(使用済燃料プールから取り出した燃料集合体他の長期健全性評価)」の一環として、1F4SFPから取り出した使用済燃料に対する調査を実施。今後、結果が取りまとめ次第、調査結果を報告する。

■現場作業実施期間
平成26年11月18日～11月25日(実施済)

- 実施内容
- ① 燃焼度、燃料タイプ等を勘案し選定した5体の燃料に対して、水中テレビカメラによる外観点検を実施
 - ② 外観点検を実施する5体の燃料について、腐食の影響を確認するため被覆管の酸化膜の厚さを測定
 - ③ 外観点検を実施する燃料のうち2体について、燃料上部のロックナット部の一部を一時的に取り外し、ロックナット内側等の外観観察を実施



作業イメージ図



ロックナット(燃料1体につき8箇所存在)